

第70回滋賀県人権教育研究大会（長浜大会）分科会報告一覧

所 属 長 様
関 係 の 皆 様

日頃から、皆様には人権教育の推進にご尽力をいただき心から敬意を表します。さて、第70回滋賀県人権教育研究大会2日目 10月25日（日）分科会の報告題名等をお知らせします。

2026年 8月

滋賀県教育委員会教育長
(公社)滋賀県人権教育研究会会長
長浜大会現地実行委員会委員長

村井 泰彦
四方 康博
織田 恭淳

分科会		分 会	報 告 者	所 属	報 告 題 名	キ ー ワ ー ド①	キ ー ワ ー ド②	会 場
I	進路保障 (校園所・企業・ 地域等の役割)	A	川江 幸乃	大津板紙株式会社	誰もが安心して働き続ける職場を目指して	人権尊重	対話(コミュニケーション)	長 浜 市 立 東 中 学 校
			小笠原 詩編	湖南省立甲西中学校	不安に寄り添い 切り拓いた進路	進路保障	持続可能な支援	
			田内 桃子	草津市立笠縫東こども園	にこにこえがお つながるなかま ～ちがうからおもしろい!30人のこどもたちと向き合う中で見えてきたもの～	寄り添う	つきたい力	
		B	小路 将史	株式会社SCREENビジネスエキスパート	障がいのある社員の成長を支える職場づくり	可能性を伸ばす人材育成	信頼関係の構築	
			大西 和樹	近江八幡市立八幡東中学校	行事で活躍したAさん	話し合い活動	信じる	
			大泉 まどか	米原市立春照小学校	誰一人取り残さない学習指導のあり方を目指して ～A児との関わりを通じた私の気づき～	教師の気づき	実態に応じた支援のあり方	
		C	竹田 新一郎	長寺地域総合センター	なんのために教師やってるん ～進路保障の主体者とは一体～	教師を続ける意味	進路保障の主体者	
			馬場 愛	近江八幡市立八幡西中学校	俺はみんなそろって卒業式をむかえられたらいいなって思ってる	不登校のAの小学校時からの 友人とのつながり	卒業後も気になるAとのつながり	
			押谷 百恵	彦根市立南中学校	生徒Aとの2年間の歩み	つながり	子どもを主体としたかわり	
		D	大井 美奈子	滋賀県立新旭養護学校	子どもの思いを大切にした進路指導の在り方とは? ～理想と現実のはざまで～	希望と現実の格差	障害者として生きたくない	
			山崎 勝大	栗東市立栗東西中学校	「もうええわ…」 ～Aさんとのかわり～	つながり	教師の当たり前	
			西 弘仁	呉竹地域総合センター	「俺(私)、将来〇〇になりたい」 ～大きな夢を持つ子どもたちの伴走者として～	受け止め	子どもの声を聴く	
2	人権尊重 のま ち づ く り	A	中西 敏弘	西教育集会所	集会所で3年、自分なりに思うこと	高齢化に伴う地域コミュニティ	施設の役割	北 郷 里 小 学 校
			樫栄 祥子	守山市立守山南中学校 (現 草津市立草津中学校)	「自分事」って	部落問題学習	自分事	
			山崎 真由子	甲良町長寺人権推進協議会	せせらぎ遊園 人権擁護条例制定のまちに生まれて ～差別をなくす側でつながるための人権推進協議会に～	部落差別と直面する町だからこそ 誕生した県下初の人権擁護条例	かつてのタマリバールームのメンバーが 集まった長寺人権推進協議会	
			高木 洋司	草津市同和教育推進協議会 町懇50周年記念事業実行委員会	町内学習懇談会・50周年の記念事業を通して、「これからのあり方」を創造 ～今もある部落差別をはじめ、あらゆる差別を解消するために～	人を尊重する心が、まちを動かす		
		A	美濃部 裕道	NPO法人CILだんない	「当たり前のように、夢の国・東京ドームで野球を見ながらビールが飲める」ということ ～誰もが地域で自分らしく暮らせる社会を作ることを目指して～	社会モデル	インクルーシブ社会	
			蜂屋 正雄	野洲市教育委員会事務局生涯学習課	地域と学校で子どもの成長を支える 野洲市家庭教育支援員の取り組み	信頼関係	地域の大人としての家庭教育支援員	
			北川 大介	日野町福祉保健課	つながりが生む、地域の力	つながり (多機関連携・ネットワーク)	アプローチの工夫 (支援の届け方・伴走支援)	
3	人権問題に関する学習・啓発 (家庭・職場・地域・ 社会教育関係団体・ 校園所等での実践)	A	岩瀬 聖矢 辻 真志	近江八幡市立北里小学校	一歩踏み込んだ先にある心地よさを求めて	一歩踏み込む	アップデート	
			松井 みちる	滋賀県立守山中学校・高等学校PTA	子どもの声を大切にする社会へ ～高校生とPTAの新しい関わり～	こどもの意見表明権	第三の大人	
			西澤 徹	彦根市平田学区人権教育推進協議会	平田学区の取り組みについて	持続可能な取り組み	高齢化	
		B	嶋瀬 加津美 平塚 良子	豊郷町「豊かな郷・子ども食堂」	「豊かな郷の小さな隣保館に集う子どもたちを大切にしたい!」 ～たまには、子ども食堂のカフェでばか～んと過ごしませんか～	Aさんをはじめとする 若い世代の人たちとのつながり	隣保館という場所で 子ども食堂を行う意味	
			井畑 明香	湖南市立三雲小学校PTA	子どもたちが輝く 三雲小	“興味”を出発点にした人権学習、スポーツを通じて 多様性・挑戦・可能性を学ぶ機会の創出	子どもの興味と気づきを起点に、 人権を“自分ごと”として感じられる学びをつくり、 その学びが家庭へ広がったこと	
			富長 弘宣	滋賀県青年団体連合会	『個人の尊重=無関心?』 ～「傷つけ合わない距離感」は、本当に幸せなのか～	個人の尊重=無関心?	人を想う心	
		C	浅居 正芳	特定非営利活動法人むげ	利用者(障がい者)の思いはどこにあるのか	利用者の本意を捉えているか	心理に差別が影響していないか	
			大島 節子	新旭電子工業株式会社	多文化共生と私たちの歩み ～「日本のお母さん」の心で創る、誰もが輝ける社会～	多文化共生	一貫した仕組みで多様な雇用を支える	
			鵜飼 淳子	ちふれん栗東	平和と人権	平和		
			岩崎 崇	滋賀県立大津商業高等学校	大津商業高校の生徒人権委員会の取り組み	人権委員	人権ポスター	
4	人権確立を め げ ず 保 育 ・ 教 育 の 創 造	A	西村 由紀	東近江市立布引小学校	こどもたちが教えてくれたこと ～「You are My Hero!」～横並びで歩む～	横並びの関係	ズレる支援	南 郷 里 小 学 校
			今濱 帆乃香	甲良町立甲良東小学校	みんなの中で –Aさんと保護者理解から考える–	集団と個別	共に学ぶ	
			青木 千夏	草津市立草津中央おひさまこども園	一人ひとりを大切にするクラスづくり ～人と人とのつながりの育みから～	こども同士をつなぐ人的環境	「気持ちは離さない」保育者	
		B	成宮 加恵	草津市立玉川小学校	「先生のこと、わからない」 ～自分の「あたりまえ」を問い直す～	こどもの声を聴く	価値観やあたりまえを問い直す	
			高山 和貴	東近江市立山上小学校	「べつに勉強なんてできでいいねん」 ～一人ひとりの学びを保障し、自尊感情を育む～	自尊感情	児童の安心できる環境づくり	
			成瀬 広美 恩田 幸江	滋賀県立長浜北星高等養護学校PTA	PTA活動 ～つながりを求めて、子どもとともに歩む～	つながり	子どもとともに	
		C	関 胡桃	高島市立安曇小学校	心のパスポート ～国籍を超えてAさんとなつながらのために気づいたこと～	外国籍児童理解	外国籍児童と他児童の共生	
			吉田 真理	彦根市立高宮小学校	「伝わらない、でもあきらめない」 ～外国人児童と私が学んだ、理解すること、理解されること～	外国人児童と日本人児童の相互理解	「理解すること」「理解されること」	
			村西 慶久	滋賀県立栗東高等学校	人権教育の実践と成果 ～インクルーシブ教育の視点から～	インクルーシブ教育	自己肯定感	
		A	関岡 亮兵	守山市立吉身小学校	楽しくてわかりやすい授業で子どもがかわる、学級がかわる	子どものつぶやきをひろい、 一人ひとりの考えを大切にする授業	安心できる居場所	
			饗庭 優香	長浜市立木之本中学校	「こんなのできへん」から「今の俺、すごいな」へ ～Aさんとの関わりを通して学んだこと～	自己選択	自己効力感	
			田中 琉翔	彦根市立城陽小学校	「伝え合おう!やってみよう!」 ～〇〇したいを引き出す授業づくり 国語科の授業改善を通して～	〇〇したい	自己肯定感	
		B	花田 みづえ	多賀町立久徳うぐいすこども園	「何をしたらいいかわからない」 ～Aさんが安心して力を発揮できる場づくりを目指して～	気になる子とは	安心できる場とは	
			余野 誓哉	甲賀市立信楽小学校	「やりたい」を大切に、友達と協働しながら学ぶ居心地のよい学級づくり	思いを表現できる環境づくり	協働学習	
			伊吹 峻	長浜市立西中学校	基本的人権についての学習 ～身近な人権問題を自分ごととして捉えるために…～	自分事	身近さ	

分科会		分科会	報告者	所 属	報 告 題 名	キ ー ワ ー ド①	キ ー ワ ー ド②	会 場	
4	人権確立をめざす保育・教育の創造	③子どもの人権・仲間づくり (いじめ・問題行動・不登校・子ども虐待等にかかわる取り組み、こころとからだ、仲間づくり、家庭・地域・校園所・関係機関の取組と連携)	A	中野 誠治	愛荘町立愛知中学校	Aさんにとって大切な人になるために ～Aさんとの出会いを次へ次へと繋いでいく～	知る	寄り添う	南郷里小学校
				川端 久美子	湖南省立菩提寺小学校	Aさんと向き合う中で 私が考えた学級づくり	子ども同士のつながり	子どもとの対話	
				芝崎 深雪	大津市立伊香立中学校	「夢プロ、あれまだいい?」 ー小規模校の地域連携の中で見えたAの姿ー	地域連携	子どもの可能性	
			B	大矢 タ子	野洲市立さくらばさまこども園	私自身を見つめ直す ～「ちょっと怖い」という言葉から～	自分の価値観や思い込み	気づき	
				宮村 保幸	愛荘町立秦荘東小学校	「僕はみんなと遊びたいんだ」 ～Aさんとの関わりから学んだこと～	児童への関わり方		
				草野 奈奈	米原市立大東中学校	民主的・創造的な学級経営を通して豊かな人間関係作りと自己表現できる生徒の育成 ～Aさんとのかわりから見えた、人権教育の本質～	エンパワメント	居場所づくり	
			C	堀井 星那	守山市立立入が丘小学校	子どもをつなぐ学級づくり ～一人ひとりの思いを大切に～	子どもをつなぐ学級づくり	教師の働きかけ	
				猪飼 晴菜	竜王町立竜王中学校	個に応じた本当の支援とは? ～Aさんとの関わりを通して～	生徒理解	個に応じた支援	
				木下 雅仁	滋賀県立米原高等学校	地域との「つながり」の中に生まれる自尊感情と市民意識の育成	地域とのつながり	自尊感情を育む声かけ	
			D	井上 知佳	栗東市立治田幼稚園	「ねえ、気づいてよ」 ～私と人権～	自身と向きあい人権について考える	一人ひとりの生き方の尊さ	
				松本 ふみ香	東近江市立能登川東小学校	「もう、ぼくは大丈夫。」 ～Aさんとの関わりから学んだこと～	不登校傾向	子どもの思いに寄り添う	
				藤田 恵理	cotton～こっとな～／グッジョブ×ジョブ	不登校ひきこもりの子ども若者達の自尊心を取り戻すために	安心感	エンパワメント	
			E	横山 玄	守山市立守山中学校	「わかるつもり」から「わかろうとする」	わかる	わかろうとする	
				増井 李音	日野町立桜谷小学校	安心して頼れる大人との関係づくりを目指して ー行き渋り傾向児童Aさんとの関わりを通してー	行き渋り	安心して頼れる大人	
				竹内 美佑希	彦根市立彦根中学校	子どもの居場所づくり ～校内教育支援教室の取組を通して～	居場所	不登校	
			F	清水 佑哉	湖南省立石部南小学校	敬意を基にした学級づくり	敬意		
				山本 千秋	近江八幡市立八幡中学校	「184件の記録、その先に見えた生徒理解 ～怒りの背景に寄り添った3年間～	自己理解	継続的支援	
				西 雅紀	野洲市立祇王小学校	一人じゃない!みんなで取り組む! ～子どもと寄り添う実践から～	チームで	向きあう	
			G	田中 優希	甲賀市立水口小学校	「今日は、わたし泣いてないで」 ～泣くことで伝えていたAさんの思いに寄り添って～	子ども理解	安心できる環境づくり	
				森下 優	多賀町立多賀小学校	「俺の話聞いてくれへんくせに!」 ～A児との関わりで気がついたこと～	子どもの思いや願いを理解する	子ども同士が支え合う関係づくり	
				佐藤 春香	野洲市立中主中学校	私が生徒から学んだこと ～担任としての関わりを通して～	仲間づくり	意思決定・自己決定	
			H	山田 善晶	甲賀市立伴谷東小学校	一人ひとりを大切にする学級を目指して ～6年A組の児童とのかかわりを通して～	規律	信頼関係	
				春尾 浩暉	守山市立中洲こども園	一人一人の思いに寄り添うとは? Aさんとの関わりを通して見えてきたこと	寄り添う		
				永尾 さやか	彦根市立西中学校	司会進行および授業参加がすべて生徒であることの良さ	自分事	「任せたい」と「伝えたい」	
			I	馬場 祐輔	長浜市立北郷里小学校	この子のことをちゃんと理解しようとしている? ～子どもとの関わりで気づいたこと～	児童・生徒理解	教師自身の思いや見方	
				田原 聖紀	甲賀市立土山中学校	Aさんとの関わりから学んだこと ～“してあげたい”より“求められていること”を大切に～	不登校		
				建林 里歌子	栗東市立大宝小学校	自己肯定感を高めるための「声かけ」「環境づくり」 ～一人ひとりの児童が安心できる教室を目指して～	自己肯定感	安心感	
			J	吉田 孝志	長浜市立田根小学校	聞いて、宿題しただけでスタンディングオベーション! ～Aさんとの学習会を通して～	居場所づくり	自尊感情の育成	
				渡邊 唯	甲賀市立城山中学校	Aさんと共に考える進路選択	不登校生徒の対応	保護者との関わり	
				濱野 裕子	大津市立青山小学校	「(学校行くと)やれって言われるのがいや」 ～Aさんに気づかされたこと～	不登校	スペシャルサポートルーム(SSR)	
			K	中島 恭子	守山市立明富中学校	「自分と同じ感じの人と話してみたい」 ～性的マイノリティ生徒との出会いから見えてきたこと～	性的マイノリティ	つなぐ・つながり	
				福島 輝	湖南省立三雲東小学校	「先生、信用してくれへんやん」 ～教師の児童理解を問い直した実践～	児童理解	安心・安全な学級づくり	
				柳田 功	滋賀県子ども会連合会	環境研修in琵琶湖博物館	びわ湖のお掃除パワーが大ピンチ!	みんなで助ける大作戦	
特別分科会			テーマ「多文化共生 ～排他的な社会にならないために～」 午前 パネルディスカッション 午後 講演 講師:榎井 縁さん(藍野大学教授)						北郷里 まちづくり センター

注 *本表の分科会・分散会のレポートの記載順は報告順ではありませんのでご注意ください。報告順は10月8日の事前打ち合わせ会議で決定される予定です。
*分科会は一日を通しての議論を大切にします。同じ分散会場に終日参加をお願いします。
*県大会に関わるご質問やお気づきの点がありましたら県大会事務局(TEL077-525-5096 滋人教事務局内)までご連絡ください。
*8月末の一覧ですので、報告題名が変更になる場合があります。